

かつての便利な化学物質が身近なところで環境汚染を引き起こしています

炭素-フッ素共有結合を持つ有機化合物の総称であり、その数は 4000 種類を超えています。撥水性・耐火性などの便利な性質から、食品包装、消火剤、撥水コーティングなど幅広い分野で使われてきました。

かつての便利な化学物質ですが、極めて分解され難いため、環境残留性・生物蓄積性があり、毒性なども明らかになってきています。

日本では「PFOS^{*1}」、「PFOA^{*2}」が化審法等の規制対象となり、製品への使用規制が進みました。しかし、すでに日本全国で PFAS による環境汚染が顕在化しています。

また、国内外で規制対象を多成分の PFASへと拡大する動きもはじまっています。

PFAS 分析装置：LC-MS/MS
高感度分析により微量成分検出・多成分同時検出が可能となります



物質名(一部)	主な用途*
PFOS	半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、 泡消火剤、衣類や繊維用の防水・防汚剤等
PFOA	フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤、泡消火剤、 半導体用・自動車部材・食品包装材の撥水・撥油剤等
PFHxS	PFOSの代替品等
PFHxA	PFOAの代替品等
PFNA	食品包装・衣類等の撥水・撥油剤、化粧品、泡消火剤等
PFDA	食品包装・衣類等の撥水・撥油剤、化粧品、泡消火剤等
PFBS	衣類や繊維用の防水・防汚剤(PFOSの代替品)等
6:2FTS	泡消火剤の共配合剤、化粧品等

ほか総計22成分の分析に対応。定量下限値や納期など個別にご相談ください

株式会社
環境総合リサーチ
Environmental Research & Solutions co., Ltd.
e-mail : contact@ctiers.co.jp URL : <http://www.ctiers.co.jp/>



PFOS：附屬書 B(製造/使用/輸出入制限)

PFOA, PFHxS : 附属書 A(製造等の廃絶)

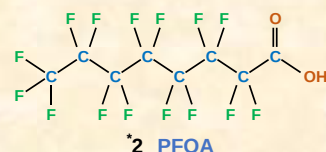
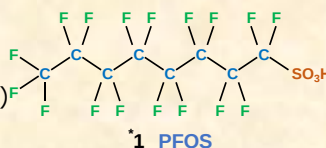
PFOS/PFOA：第一種特定化學物質

PFOS/PFOA：第一種指定化學物質

水道水質基準 水質管理目標設定項目

ともに PFOS/PFOA 合計 : 50 ng/L

2023年9月時点



PFASによる環境汚染の実態把握には、採取方法などへも注意が必要です。弊社では分析のプロが長年培ってきた経験をもとに、採水から分析・評価まで高品質の成果をご提供します。

弊社では河川水・地下水の要監視項目に指定されている
PFOS / PFOA のほか、PFHxSをはじめとした 20 種類
以上の PFAS を対象とする多成分同時分析が可能です。
また、土壌や製品に関する分析経験も豊富です。

**PFAS の多成分同時分析結果に基づく汚染源の推定や
最新の浄化技術の動向など PFAS 汚染対策に有益な情報
を御提案します。**

*一般社団法人 土壌環境センター「PFOS 等およびその前駆体を対象にした物性比較と土壌・地下水中の挙動に関する特性の評価について」発表資料より一部抜粋

株式会社環境総合リサーチは株式会社建設技術研究所（CTI）グループの一員です。

本社・いはいな事業所：〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台二丁目 3 番 9
Tel.0774-41-0200 Fax.0774-95-6510
中部事業所：〒444-0012 愛知県岡崎市栄町 4 丁目 1 番地
Tel.0564-21-0062 Fax.0564-65-5277
東京事業所：〒135-0016 東京都江東区東陽 6 丁目 5-6
Tel.03-6666-0570 Fax.03-6666-0571